

令和5年度 食育推進事業実施状況（令和5年11月末現在）
《基本目標》 食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

推進団体	ページ数
一般社団法人仙台市医師会	1
一般社団法人仙台歯科医師会	2
公益社団法人宮城県栄養士会	4
仙台市小学校長会	6
仙台市私立幼稚園連合会	7
仙台市保育所連合会	9
仙台市PTA協議会	10
宮城県生活協同組合連合会	11
みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）	16
仙台農業協同組合	17
仙台白百合女子大学	18
宮城大学	19
仙台市市民局	20
仙台市こども若者局	21
仙台市環境局	24
仙台市経済局	26
仙台市教育局	29
仙台市健康福祉局・各区保健福祉センター，総合支所	31

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿病精密検査 6/22～6/27 生活習慣病検査 10/16～10/19 貧血検査 8/28～10/13	糖尿病精密検査実績 37名 生活習慣病検査実績 238名 貧血検査実績 874名	仙台市医師会
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き（改訂版）を活用し、指導・助言を行う。	通年		仙台市医師会
具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通年	妊婦健診実績 延べ 44,412名	仙台市医師会
2	産婦健診事業	産婦健診受診者	・産婦健診の中で貧血や妊娠高血圧症、妊娠糖尿病などの産婦に直後の食事指導などを行う。また、支援が必要な産婦については、行政を連携し積極的に指導する。	通年	産婦健診実績 延べ 6,792名	仙台市医師会
3	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通年	乳児健診実績 ●●●●名 1歳6か月児、3歳児健診実績 1歳6か月児→●●●●名 3歳児 →●●●●名	仙台市医師会
取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします						
具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、検査項目の一つ血清尿酸は、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾病の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	令和5年6月～令和6年3月	特定健診実績 45,984名 *市国保 基礎健診実績 40,325名 動機づけ支援実績 365名（見込）	仙台市医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	・冊子名：スマイル（食の大切さや、より良い食事に関する啓発）	通年	令和5年3月発行	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催	一般市民	・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催 ・むし歯・歯周病予防のための生活習慣 ・健康長寿のための食生活とお口の動き ・市内小中学校での取り組みの紹介 など	6月4日から10月末までサイトの公開 https://s-da.or.jp/shimin-tudo	参加者数は、閲覧数のカウントが出来ないため不明	市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県米糞土会、健康福祉局、こども若者局、他）

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	通年		仙台歯科医師会 こども若者局 教育局
2	支援学校での摂食指導	児童・保護者・職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	通年で3回を予定		仙台歯科医師会 教育局
3	仙台市PTAフェスティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活について啓発	未定	参加なし	仙台歯科医師会 東北大学 健康福祉局
4	フッ化物歯面塗布助成事業	乳幼児	乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年		仙台歯科医師会 こども若者局

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます						
具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	口腔機能低下症に関する学術講演	歯科医師及び関連職種	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演	令和5年11月16日（木） 根白石市民センター（1回）		仙台歯科医師会
		歯科医師及び関連職種、養護教諭	・～口の中はふしぎがいっぱい～ こどもの口は履歴書 国立モンゴル医学科学大学 客員教授 岡崎 好秀 先生	令和5年10月15日（日） 宮城県歯科医師会館5F講堂	62名	仙台歯科医師会 宮城県歯科医師会
2	元気力アップフェスティバル！への参加	一般市民	・各関係団体が連携して実施 ・お口の健康チェック及び歯と口の健康相談	11月12日仙台シルバーセンター	歯科関係ブース 75名	地域包括ケア推進課 シルバーセンター
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催 ・むし歯・歯周病予防のための生活習慣 ・健康長寿のための食生活とお口の働き ・市内小中学校での取り組みの紹介 など	6月4日から10月末までサイトの公開 https://s-da.or.jp/shimin-tudoi		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、こども若者局、他）
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口腔の健康づくり教室」の実施。	新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開催を検討する		仙台歯科医師会
2	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等での食に対する啓発	新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開催を検討する		仙台歯科医師会
3	むし歯予防（特に6歳臼歯について）と生活習慣についてのDVD配布とWEB公開 【新規】	園児・児童とその親	NPOSENDAI子育て応援隊ピンポンパン☆が演じる6歳臼歯を題材とした小学校低学年向けむし歯予防と生活習慣の人形劇を撮影編集しDVDを作成し、市内小学校・児童館・保健センターに配布し、仙台歯科医師会HPにて公開する。	DVD500枚配布とWEB公開（6月4日～10月末）	実施なし	仙台歯科医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施する市民のつどいにて、食の大切さについて啓発（今年度は対象者を子供達とする。「元氣っ子に大切な栄養ってなーに？」動画公開）	6月4日web開催 （動画配信）		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、こども若者局、他）
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	小学生に対する出前授業	小学生高学年	依頼を受けた学校に出向き朝食の大切さについて、授業を実施する	通年	実施回数2回 参加者 延べ61人	宮城県栄養士会
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施する市民のつどいにて、食の大切さについて啓発（今年度は対象者を子供達とする。「元氣っ子に大切な栄養ってなーに？」動画公開）	6月4日web開催 （動画配信）		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、こども若者局、他）
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発 ・生活習慣病予防のリーフレットを県民・市民に配布（栄養士会会員全員から公募して県民市民に配布）	1月頃予定		宮城県栄養士会
3	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、一般市民に普及、啓発する。	11月2日 老壮大学	50人	宮城県栄養士会
4	仙台市介護予防月間	一般市民	元氣カアップフェスティバル	11月	フレイル予防相談（40～90代） 48人	シルバーセンター 宮城県栄養士会
5	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	フレイル予防のための栄養について	未定		宮城県栄養士会
6	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など	11月気仙沼面瀬小学校 12月大貫小学校	児童 61人	宮城県栄養士会
7	宮城県ケアフェスタ	一般市民	・宮城県 宮城県歯科医師会 食育を通じた歯と口腔の健康づくりイベント 栄養士会は噛むことの大切さについての動画10分間実施	11月23日	親子40人	宮城県栄養士会 宮城県
8	食材王国みやぎ伝え人	児童とその親	・身近な食材を使用した子供でも作れるメニューでの調理実習			宮城県栄養士会

令和5年度 食育推進事業実施状況（令和5年11月末現在）

（公社）宮城県栄養士会

9	子育て応援団すこやか2023	一般市民	・ミヤテレ主催 食育に関する案件 離乳食・幼児食相談、ゲーム、塗り絵など	10月	親子 100人	宮城県栄養士会 ミヤギテレビ
10	みやぎサテライトステーション	一般市民	・健康相談	通年		宮城県栄養士会
11	福祉に関する研修会	一般市民	・経口移行に関する管理栄養士の役割、要介護高齢施設における嚥下調整食について	未定		宮城県栄養士会
12	地域包括ケアシステム協働プロジェクト	一般市民	・はればれ健康フェスタへの参加	オンラインで参加	200人	柔道整復師会 宮城県栄養士会

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	いい日いい汗栄養まつり 《再掲①-F-1》	一般市民（県民）	・宮城県栄養士会全会員から公募し、生活習慣病予防、フレイル予防のリーフレットを作成、各区役所や関係施設等に配布し、健康増進の一環とする	8月中 各区役所、施設に配布		宮城県栄養士会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」を基に教育活動全体を通して食に関する指導・食育を実践する。	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 「食に関する指導の全体計画①②」を基に、各教科や特別活動及び学校の教育活動全体を通して食に関する指導・食育を展開する。 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための教育活動を工夫し、実践する。 各学校ごとに、食に関する指導について適切な評価を行い、食育の成果と課題を把握し、次年度ごとに「食に関する指導の全体計画①②」の見直しを行う。 	通年 ・各学校において、「食に関する指導の全体計画」を基に教育活動全体を通して食に関する指導・食育を実践する。 ・適切な評価を行い、食育の成果と課題を把握し、「食に関する指導の全体計画」の見直しを行う。		小・中学校 教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、学年学級の実態に応じて、各学年学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。 宮城、仙台産などの地元の農産物や郷土食を活用した給食を提供する等で、食に関する指導・食育を推進する。 	通年 食に関する指導の全体計画を基に、児童・生徒の実態に応じた食に関する指導・食育を推進する。		小・中学校 教育局
3	「学校給食週間」	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の意義、役割等について児童生徒や教職員、保護者、地域住民等の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実と発展を図る目的で各学校ごとに実施する。また、児童、生徒を中心に内容を工夫して、食べ物や給食携わる方々に感謝する催しを開催する。 	1月 児童・生徒の主体性を大切に各学校の特色を生かして行う。		小・中学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 献立表や給食だよりなどを通じて、食に関する指導・食育活動の周知を行う。 食物アレルギーへの対応（個別面談等含）について周知し、個別に詳細献立表を家庭に配布する。 	個別面談：年度初めに実施 献立表等：月ごとに実施、詳細献立表（アレルギー対応）配布		小・中学校 教育局
2	「望ましい食習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを活用し、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。 	通年 養護教諭と共に健康教育の一環として実施		小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切に作る心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。 	通年 ・仙台市を行政区を基本とした4つの地区に分け、それぞれがテーマを設けて実践する。 ・各校の実践を共有し、でアークイブ化する。	<ul style="list-style-type: none"> 11月末現在、2回の全体会を開催し、それぞれ80名前後の参加があった。1回目の全体会研修会では、健康教育課指導主事より、「食に関する指導の充実に向けて」というテーマで講話をいただいた。 	小学校 (仙台市小学校教育研究会学校給食部会)
2	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、学校における食育の推進に向けて、児童生徒に対する食に関する指導の在り方や学校給食の充実について研究協議し、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上を図る。 	通年 ・全体では年間の研修計画を立て、定期的に研修会(講演会、施設見学、調理実習)を開催する。 ・仙台市を8つの地区に分け、それぞれがテーマを設けて実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 8つの地区ごと、設定したテーマをもとに、施設見学や調理実習など、5回の研修を実施した。12月には、仙台市地域活動栄養士会の管理栄養士を招いて調理実習を行い、「減塩」について学ぶ予定である。 	小・中学校 (仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会)

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	<p>食べることが楽しくなる食育</p>	<p>園児（年長児）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児のみが育てられる栽培物に特別感を持ってお世話をし、生長を楽しみにする。 ・種まきから収穫までを経験することで、栽培することの大変さを感じたり、責任を持って育てることで、野菜を身近に感じられるようにしていく。 ・7月に行うお泊り保育に向けて、じゃがいもとミニキャロットを育て、カレーを作ることを楽しみにする。 ・「日々のパン」の派遣講師に来ていただき、「パン教室」に参加する。あらかじめ発酵済のパン生地を自分で成形し、焼いたものを試食する。 	<p>年長児57名（みやぎ幼稚園） 一学期から二学期にかけて</p> <p>パン教室：R5年6月26日実施予定</p>	<p>年長児57名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の年長が栽培物を育てている様子を見て、自分たちも今年度様々な栽培物を育てることを楽しみにしていた。毎日当番が水やりを行い、自分たちでお世話をしようとする気持ちが感じられた。収穫の際も大きさに関係なく実が出来ていたことに喜んでいる子が多かった。 ・数年振りに行ったお泊り保育では、5月から育ててきたジャガイモ、人参でカレーを作ることを楽しみにしており、当日は出来上がってからもおかわりをして食べる子も多かった。 ・ミニトマトは3種類育てたが、実の色づきに差があり、1学期の終業式頃が食べごろとなった。苦手な子も一口食べてみようとしていたり、好きな子は自ら中玉サイズを選んだりして、喜んで食べていた。 ・パン教室では、普段とは違った活動ということもあり、数日前から楽しみにしている人も多かった。当日は自分で生地をこねたり、成形したりして自分だけのパンを作ることを楽しみ、焼き立てのパンを食べることができ嬉しそうだった。家庭で作る為の持ち帰りの生地があり、実際に家庭で作っていただく事で保護者にも活動を理解していただく機会ができた。お弁当の日に作ったパンを持ってくる子も多かった。 	<p>幼稚園 私立幼稚園連合会 （みやぎ幼稚園）</p>

		<p>園児（年長児）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月に行うお泊り保育に向けて、カレーの材料になるじゃがいもを育てる。 ・お泊り保育前に収穫予定。お泊り当日に調理体験（皮むき、切る）をし、楽しく喜んで食すことができるようにする。 ・宮城県の郷土料理「ずんだ」を子ども達が味わう機会を目指し、枝豆農家さんのアドバイスを受けながら、枝豆も畑で育てる。 ・育てた枝豆で「ずんだ」の他に大豆を作り、みそ作りに挑戦する。 ・10月に水菜を種から栽培。 	<p>年長児92名（めるへの森幼稚園） 一学期から二学期にかけて</p>	<p>年長児93名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育てたじゃがいもは子ども達が皮を切ったり包丁で切ったりし、カレーとフライドポテトにして味わった。 ・枝豆では、薄皮むきをしたりすりばちですりつぶす経験をし、ずんだ作りの過程や大変さを感じたり、においをかいで出来上がりを楽しみにしていた。 ・大豆作りでは、枝豆が育つと大豆になることを知り、できた大豆の数数えにも挑戦。大豆からいつも食べているみそ汁のみそができることを知り、育てた水菜を使い、水菜のみそ汁を味わった。大豆は水につけると形が変わることも知り、食への興味も楽しく深めることができた。 	<p>幼稚園 私立幼稚園連合会 （めるへの森幼稚園）</p>
--	--	---	--	---	--

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。 	通年		保育所 保育所連合会 子ども若者局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所連合会栄養士研修で乳幼児の発育・発達と食行動についての理解を深め、施設での実践に繋げる。 	9月21日	参加者数175名	保育所連合会 子ども若者局
2	保育所連合会給食担当者研修会	調理員・栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を通して、保育施設のアレルギー対応と食事提供について学ぶ。 	9月5日	参加者数149名	保育所連合会 子ども若者局
3	保育所連合会給食会研究委員会	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマを設け、乳幼児の食育に関する研究・発表に取り組む。 	通年	テーマ 「ステップアップあさごはん! 3」 ～朝食の質の向上を目指して～ ・朝食に関するアンケート調査（食育活動前後） ・バランスアップスープの考案、クッキング活動、給食提供 ・家庭用レシピ集の作成	保育所連合会 子ども若者局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の献立に、行事食や郷土料理を提供することを通じて、地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。当日のレシピ配付や掲示等で、保護者へも知らせる。 	通年		保育所連合会 子ども若者局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・親子料理教室等の開催 ・給食試食会 ・栄養士さんの講話 ・ミニ菜園づくり など 	通年		仙台市PTA協議会

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域行事での食育	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・田植えや収穫などの農業体験活動 	通年		仙台市PTA協議会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	店舗セールチラシや共同購入のチラシで朝食特集。朝食の大切さの啓発。	4/3・4/6・8/24・1/8	4/3・4/6・8/24に実施	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより、市民の食育活動への参加を促します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいぶんど商品を使ったアイデアを募集し、ホームページで紹介する。	通年	2023年度は実施しませんでした。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活アンケートの実施と課題推進委員会の開催	大学生	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で変化した学生の食生活についての実態調査を行う。 ・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生が集まり、大学生の食生活について考え、大学生協の食育推進をどうするか検討する。 	7月上旬から8月中旬に実施	東北の13の大学生協から3211名分のアンケートを回収	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てひろば&離乳食栄養相談会	子育て世代の親	開催時間内なら出入り自由、参加費無料、申込不要のみやぎ生協の「子育てひろば（親と未就園児対象）」内で、管理栄養士に個別で聞ける相談会。子育て中の方が離乳食や子どもの栄養に対する不安を取り除き安心して離乳食や子育てに取り組めるようにします。	時期未定 みやぎ生協店舗の15会場各会場6組募集	9会場で開催。41組の親子89人が参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します						
具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールプラン推進	大学生	・食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する。	利用は年間。プラン作成、販促は下期より	2023年度の年間利用者（新入生）は東北全体で4132名	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます						
具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会	一般市民	高齢者の食生活、フレイル予防の啓発・情報提供	今年度は予定なし		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会	一般市民（成人）	①健康寿命の延伸に口腔ケアが欠かせないことを学ぶ（会場・オンライン） ②腸内環境を整える重要性について学ぶ（会場・オンライン）	①12月8日 ②2024年2月8日	①125人 会場・個人視聴・サテライト8か所。嚥下障害や歯周病についてのお話	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	一般市民	みやぎ生協は「食」をだいに健康づくりをすすめます。食生活提案をすすめる4つの基本テーマに沿った「みやぎ生協の食生活提案」を広めます。実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施します。	今年度は予定なし	BDHQ（Brief-type self-administered Diet history Questionnaire）簡易型自記式食事歴法質問票を用いて、自分の食習慣を見直す2回連続講座を開催。27人参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	一般市民	・食育に興味のあるメンバーが登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学び、メンバーに情報発信する。	今年度は休止		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPOおむすび、株式会社仙台水産と共催。宮城の旬の魚介類を素材に調理や学習の援助を実施。 ①「お魚がきっと好きになる料理教室」年1回小学生の親子15組30名募集 ②「さばいて作る大人のお魚教室」年4回各回20名募集	①移動楽習「親子で市場を探検しよう！」7/28（金） ②6/10・10/14・11/18・3/2いずれも土曜	①15組30名参加。 ②6/10は12名参加、10/14は中止。11/18は8名参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶん商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	通年	11月末現在 8回のべ113名参加	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	5ADAY食育体験ツアー	小学生 幼児（5歳児）	①2005年から実施している小学生向け「5ADAY食育体験ツアー」は、店舗の集会所や売り場を活用して行う。買い物ゲームやサラダ作り見学を交えた食育の授業を5ADAY食育インストラクターを講師に行う。 ②2018年から実施している幼児向け5ADAY「たべるのおはなし教室」は、店舗の集会所や売り場を活用して行う。買い物ゲームやクイズを交えた食育の授業を5ADAY食育インストラクターを講師に行う。	①5月～12月に仙台市内の小学校14校で開催予定。 ②5月～2023年1月に仙台市内のこども園、保育園7校で開催予定。	①10校684人参加。 ②5園99人参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	日本型食生活提案	一般市民	「つどい」などで日本型食生活について学習	今年度は予定なし		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	・「めぐみ野」品（産直品）、「めぐみ野」米の普及活動の日を設定し、普及活動に取り組む。	「めぐみ野」品の普及活動は、年間9回17会場。「めぐみ野」米は9回55会場。いずれも6月から3月の第二火曜。	各会場で生産者やお取引先様とみやぎ生協のエリアサポーターで実施。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育体験ツールの提案	一般市民	・野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み3・1・海の恵み38選」を貸し出し、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	未定	3会場に「見てあてよう～野菜・果物の花」の写真を貸し出しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	産地見学会	一般市民	・みやぎ生協の産直ブランド「めぐみ野」の美味しさやこだわり、生産者の思いを現場で体感できる『「めぐみ野」産地見学』を開催	6月から11月に田尻・松山・角田・丸森を会場に10回	8会場で159人参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農業について生産者や専門家のお話を聞き自分たちの食生活をみなおす。2023年度は畜産をテーマに。	講演会1回 学習会10回	・9/21映画「希望の給食食と農がつむぐ自治と民主主義」上映会1回 参加15名 ・10/10パレスチナオリーブオイル学習会、参加20名	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
3	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	原木椎茸産地見学（宮城） ながめやま牧場見学（山形） トライりんごオーナーによる（ネオニコフリー栽培）援農と見学（山形）	・4/23原木椎茸産地見学 17名 ・9/16ながめやま牧場見学ツアー48組108名 ・9/27天童りんご園地見学ツアー12組27名 ・トライりんごオーナー援農体験10組30名、7回実施	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	地区委員会と地場生産者のタイアップ交流	組合員	・10地区委員会がそれぞれ地場生産者の中からタイアップ先を決め、一年を通して農作業体験を通して交流と学習の活動を行う。 ・秋保の圃場で、小豆の種まきから収穫、種別や加工を生産者と共に作業し種子について学ぶ。	通年	・8地区委員会があいコープPB商品の中から、それぞれ1商品を選んで、産地見学や生産者交流をおこなってPB商品ガイドを作成。参加人数は100名 ・秋保たねまきプロジェクト登録者数22名、活動7回	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
5	Wa!わぁ祭り	組合員 生産者 一般市民	・生産者、組合員、職員が一緒になって楽しみながら交流するお祭りをオンライン企画を主体として実施。	10月～11月ごろ	・10月21日開催1000名参加	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
6	産地応援し隊	組合員 生産者	・産直産地からの援農依頼を受け、登録している組合員から援農活動参加者を募る。	3月～11月	・登録者数96名 ・活動日数33日 ・のべ活動人数196人	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	①パケツ稲栽培コンテスト メンバーが家庭で稲を育てる体験をする。17店舗で開催。苗配布とコンテストの2回参加。栽培セットとマニュアル、日誌を配布。 ②田んぼの学校 産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稲刈り体験を実施。各回で申込み。 ③わが家の味噌作り 田尻に圃場を借りて米を栽培したり、生産者の畑で種まきや収穫作業を行う。最終的に自分たちで育て選別した大豆で味噌を作る。全8回。	①パケツ稲の配布5月28日・パケツ稲栽培コンテスト10月15日 ②田植え5/14・生き物調査6/11・稲刈り10/8 ③田植え5/21・生き物調査6/11・農作業体験7/16・種まき/定植作業8/27・稲刈り10/9・収穫作業11/11・大豆選別/鏡餅づくり体験12/10・味噌づくり1/27・2/3・2/17	①17会場で348人参加。栽培日誌のコンテストも実施。 ②各回ごとの申込で、5/14は8家族28人、6/11は7家族26人、10/8は12家族35人が参加。 ③23家族77人参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	JAみやぎ仙南「めぐみ野」ねぎ収穫体験	メンバー家族	ねぎ圃場でねぎの抜き取りの収穫体験を行いながら生産者と交流	未定	開催なし	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	農業体験の実施	組合員の親子	・あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りをします。（田んぼに行こう企画） ・年間登録のメンバーによりあいコープの体験圃場でさつまいも、落花生。秋大根の栽培を体験する。（畑に行こう企画） ・はさま自然村の生産者による指導の下、パケツで稲を育てる取り組み。（パケツ稲選手権）	田んぼに行こう～年4回 畑に行こう～年8回 パケツ稲選手権～2回	・大郷田んぼに行こう登録者26名活動6回 ・七郷無農薬の米作りにトライ！登録61名活動5回 ・パケツ稲選手権 登録22家族・10/1親子でさつまいも収穫体験9家族29名	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用したの商品開発を継続して行う ・東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。	商品開発・販売の継続。	新発売商品として10品販売	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-2 フードバンクの取り組みをすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	コープフードバンク	東北6県の福祉関係機関や団体、施設等	お取引先の食品企業等から余剰食品の無償提供を受け、社会福祉に寄与する団体・組織等へ無償で提供することを通して、食品の無駄をなくすとともに、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりをすすめる。	通年	・受入量：76.5 t （昨年より69 t 減） ・提供量：91.5 t （昨年より53 t 減） ・食品提供企業・団体数：158団体 ・食品等を提供する施設・団体数：402団体（昨年より6団体増） ・法人サポーター：81社	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	フードドライブ	福祉施設・困窮者支援団体・こども食堂	各エリアのエリアサポーターが、食品の寄付のよびかけから地域の中で食品を必要としている団体とつながり食品を贈呈するまでを行う。本部職員も年2回実施した。	通年	各エリアの取り組み：延べ39店舗 46エリアで4,593食寄付。 本部職員：2回で2,114食を寄贈。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し、食品の選択への活用をすすめます

具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し、活用法を知る機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民（成人）	健康食品と称して、あたかも症状を緩和させるかのように宣伝し、販売されている機能性表示食品は医薬品と違うことを認識することが重要であること、また、医薬品との併用で健康に悪影響を及ぼす恐れがあることなどを学習します。（会場・オンライン）	12月15日	「健康食品と医薬品のあふない関係」と題した学習会に85人（会場、個人視聴、サテライト4か所）が参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾・復刻版	一般市民	仙台市内の飲食店にて講師を招き、美味しい食事を食べながら、宮城の食や農について真面目に学びます。 「地産地消」「旬産旬消」等をキーワードに、わかりやすく伝える。	2024年2月・1回		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	MELONみやぎSDGs環境アドベンチャー（第27回MELONフェスタ）【新規】	一般市民（親子連れ歓迎）	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）は、1993年6月の設立から30周年を迎えるにあたり、2023年7月からの1年間をアニバーサリーヤーと位置づけ、30周年記念事業を行います。キックオフイベントとして、MELONの人気講話をぎゅっと詰め込んだフェスタを開催。ステージプログラムでは「みやぎの海～豊かな海のことを知ろう！」（三陸でとれる魚介類や水産加工品等についてのお話。）や、「みやぎの食～産地の近くで旬を食べよう！」（セリをはじめ在来作物の紹介、農家の仕事等についてお話。）などなど、生産者や産地のお話、食育につながる興味深いミニ講話を聞くことができます。	2023年6月・年1回	【参加者数】延べ378名 ・ステージプログラム（5つ合計）104名 ・ハチまたわし作り 96名 ・クイズラリー 84名 ・メロンが当たる抽選 43名（会員10、非会員33） ・MELON 役員 15名 ・MELON スタッフ・ボランティア 36名	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	J A 仙台食農教育プラン 親子農業体験の開催	一般市民	○親子農業体験「ふあむふあむ」と題し、参加者を募集し実施。 ◆園芸：枝豆収穫体験 ◆果樹：梨狩り体験 ◆園芸：しいたけ収穫体験	8月 枝豆収穫体験 10月 梨狩り体験 12月 しいたけ収穫体験	8月枝豆収穫体験 6世帯17名 10月梨狩り体験 4世帯13名 12月に予定していたしいたけ収穫体験については生育不良により中止となりました。	仙台農業協同組合
2	J A 仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	○農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆田植え 富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、荒井小、国見小、大沢小 ◆稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、生出小、大沢小 ◆パケツ稲作栽培 国見小 ◆さつまいも・里芋 播種・収穫 杉の子保育園、ハンビの森こども保育園、聖列スツァ幼稚園 ◆枝豆播種 荒井小	・田植え5月 ・パケツ苗 5月 ・稲刈り10月 ・枝豆播種 5月 ・さつまいも・里芋苗定植 6月 ・さつまいも・里芋収穫 11月	富沢・西多賀小 240名参加 長町南小 20名参加 新田小 135名参加 七郷小 130名参加 荒井小 73名参加 大沢小 30名参加 七北田小 114名参加 岩切小 150名参加 高砂小 50名参加 聖列スツァ幼稚園 30名参加 参加総計 972名参加	仙台農業協同組合
3	J A 仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生	○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。	・7月上旬に各市町村の教育委員会を通じ案内書を送付。11月頃から講座開始	7校において講座を開催し、319名の生徒が参加されました。（12月末現在）	仙台農業協同組合

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育紙芝居またはエプロンシアター	乳幼児とその親	仙台白百合女子大学にて食育紙芝居またはエプロンシアターの実施 また人間発達学科の学生（保育士希望）に参加乳幼児をみてもらい、親に乳幼児期の栄養や行事食について講義する	年1回	令和5年度は11月17日（金）に実施予定でしたが、参加者等（保護者や乳幼児またはそのきょうだいの体調不良により）中止となった。	仙台白百合女子大学

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学生に向けた食育の推進	大学生	食育関連の授業や研究室ゼミを通して、食に関する知識を提供して意識を高め、学生が自分自身の食生活を見直し、改善することを促した。授業の中で、仙台市「仙台伊達なキッチン-だてきち」と太白区「モーベジ」のチラシを配布して、Facebook・Instagramによる季節の地元食材の活用を促し、朝食向けのレシピなどを紹介した。その際に、太白区保健福祉センター経由でいただいた「食育推進」ロゴファイルを、デザイン作成学生の想いを伝えつつあわせて配布させていただいた。	3年生：年15回 1・2年生：年5回 3・4年生：月3回 4年生：年1回 「だてきち」「モーベジ」チラシ 配布 「食育推進」ロゴファイル配布	125名 109名 9名 61名 各206枚 181枚	宮城大学食産業学群
2	若い世代の心身の健康に向けた食育推進に関する検討	20歳代	若い世代の食生活における問題を改善し、心身の健康の維持・増進を図ることは、次世代およびその食育を担う上で重要である。大学生は就職活動時期に、また、その後の新社会人となった際にストレスを感じやすい状況となる。若い世代の食の乱れが問題とされている中で、心の健康維持における栄養バランスのとれた食事の重要性に関する認識度は高くない。そこで、若い世代においてストレスが食生活に及ぼす影響に関するアンケート調査を実施した。その結果を踏まえて、今後、若い世代の心身の健康維持のための望ましい食生活について検討・考察し、啓発につなげる。	10月30日に調査実施	対象者：20歳代 男性 111名、 女性 112名	宮城大学食産業学群

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	10月、1回	10月26日開催 テーマ「知っておきたい食品表示ー知っておきたい食品表示-毎日の買い物をもっとかしこく-」 参加63名	市民局

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報の提供。	年4回発行 6月、9月、12月、3月各9,000部発行	年4回発行 6月、9月、12月、3月（予定）各9,000部発行	市民局
2	ホームページによる情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
3	消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関や、各種団体の啓発資料等を設置し、情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
4	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	10月、1回	10月26日開催 テーマ「知っておきたい食品表示ー知っておきたい食品表示-毎日の買い物をもっとかしこく-」 参加63名	市民局
5	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・消費生活の知識を楽しく学ぶことができる消費者教育ウェブ教材「伊達学園」において、幼児期から成人まで発達段階に応じた情報提供を行う。また、学校における消費者教育をより一層支援することを目的とした小学校高学年向けのウェブコンテンツ「授業でござる」では、お金の使い方や地産地消などの情報提供を行う。	随時	随時	市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し、市内の小中学校へ情報提供。 ①めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット）ーウェブ教材「伊達学園」内に電子教材として掲載。 ②めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本）ー市内中学校へ配布。	年1回 （3月予定）	年1回 （3月予定）	市民局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供	随時		こども若者局
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	随時		保育所 私立保育所（園） 認定こども園 こども若者局
2	献立表、給食だよりの、保育参観などでの働きかけ	保育所等入所児童の保護者	・保育所等の給食だよりを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。	通年		保育所 保育所連合会 こども若者局
3	親子調理活動	保育所等入所児童と保護者	・保育参観や懇談会等で親子調理活動を実施し、親子で食事作りを楽しみ、家庭での食への興味や関心を深める。	随時		保育所 私立保育所（園） 認定こども園 こども若者局
4	保護者への啓発	保育所等入所児童の保護者	・給食だよりに食育活動報告を載せ、保護者に周知する。 ・懇談会や給食試食会を実施する。	通年		保育所 私立保育所（園） 認定こども園 こども若者局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・保育所連合会栄養士研修で乳幼児の発育・発達と食行動についての理解を深め、施設での実践に繋げる。 ・栄養士研究委員会にてテーマを設けて研究・発表する。	9月21日	参加者数175名	保育所連合会 子ども若者局
2	保育所連合会給食担当者研修会	調理員・栄養士	・講義を通して、保育施設のアレルギー対応と食事提供について学ぶ。	9月5日	参加者数149名	保育所連合会 子ども若者局
3	栄養士研修	小規模AB事業所内	・乳幼児の発育・発達と食行動について理解を深め、施設での実践に繋げる	8月24日	参加者数82名	保育所 子ども若者局
4	食物アレルギー研修	小規模・事業所内・家庭的保育事業の保育従事者	・乳幼児期におけるアレルギー、アレルギー対応の基本について学ぶ。	11月2日	参加者数103名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子ども若者局
5	業務研修	保育士	・職場内で食育や食物アレルギーの研修を実施し、正しい知識を得るとともに職員間での共通理解を深め実践につなげる。	随時	各保育所において随時実施中	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子ども若者局
6	食物アレルギー研修会	保育所等職員	・「エビベン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する。	随時	貸出箇所数 1か所 運営支援課保健師による訪問指導 14か所 206名参加（11月末現在）	保育所 子ども若者局
具体的な取組 ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします。						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	各区・支所にて毎月1～2回 開催予定	母子健康手帳交付説明会：302人参加、 個別相談13件 母親教室等：789人参加、個別相談55件	子ども若者局 各区保健福祉センター 総合支所
2	3～4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	各区月1～2回開催予定	3,679人参加、個別相談0件	子ども若者局 各区保健福祉センター 総合支所
3	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発（太白）	年間67回開催予定 せんだいTube・太白区チャンネルにて、管理栄養士による「食育情報」の動画を引き続き配信予定	354人参加、個別相談176件	子ども若者局 各区保健福祉センター 総合支所
4	1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	・幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児歯科健診集 団指導時：太白）	1歳6か月児健康診査：200回予定 2歳6か月児歯科健康診査：201回 予定 3歳児健康診査：210回予定	1歳6か月児健診：4,768受診、個別相談 770件 2歳6か月児歯科検診：4,871人受診、個 別相談477件 3歳児健診：5,007人受診、個別相談 358件	子ども若者局 各区保健福祉センター 総合支所
5	訪問相談	地域の子育て家庭 保護者	・地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う。	4月～3月 6か所で実施予定	6か所 395件（11月末現在）	保育所 子ども若者局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える。 	随時		保育所 こども若者局
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等における食育の充実	保育所等入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」を作成し、保育の中での食育を推進する。 ・毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。 ・各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。 	随時		保育所 私立保育所（園） 認定こども園 こども若者局
		保育所職員	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の一環として保育士が子どもと同じものを食べ、子どもが食べ物に興味や関心を持ち、食べる意欲を育てたり食事マナーに気付かせるような働きかけを行う。 	6月～3月 公立	30か所146名実施中	保育所 こども若者局
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所等入所児童	<ul style="list-style-type: none"> ・畑作りの年間計画をたてる。 ・子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。 ・収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。 	通年		保育所 私立保育所（園） 認定こども園 こども若者局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	随時		保育所 私立保育所（園） 認定こども園 こども若者局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における地場産物の活用推進	保育所等入所児童と保護者	・地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。 また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 ・保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。	通年		保育所 私立保育所（園） 認定こども園 こども若者局

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-1 「モットイナイ」の精神で、食品を無駄なく使い、食品ロスや生ごみを減らす取り組みを応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	HP等を活用した食品ロス削減の情報発信	一般市民	食の3Rにつながる情報をHP等で発信することにより、食品ロス削減に関する市民の気運醸成と食の大切さを再発見するきっかけづくりを進める。	通年	仙台市ごみ減量・リサイクル推進サイト「ワケルネット」に掲載	環境局
2	食品ロスガイドブックの活用	講座受講者等	「せんだい食品ロス削減ガイドブック第2版」を発行し、講座受講者等への配布、ウェブサイト「ワケルネット」において公開することにより、市民へ向けて食品ロス削減に関する啓発を行う。	随時	令和5年10月に改訂版発行、ワケルネットでの公開 講座：第1回 10/7 第2回 10/25 第3回 1/26（実施予定）	環境局
3	小売店、飲食店等での食品ロス削減	食品関係事業者 一般市民	小売店や飲食店などから発生する食品ロスを削減するため、小売店等から生じる消費期限の近い食品等を消費者に割引いて提供するマッチングサービス「ワケルくんもったいないマルシェ」を運用する。 また、飲食店等での食べ切りを推進するキャンペーンを展開し、食品ロス削減に向けた意識の啓発を行う。	通年	令和5年11月現在 市内ユーザー数 7,896人 協力店舗数 26店舗 食品ロス削減量 約1.9トン	環境局

具体的な取り組み ④-A-3 フードバンク、フードドライブの取り組みを市民に広く啓発し、食品ロス削減への気運を高めます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	フードドライブ	一般市民	市施設と民間商業施設で未使用食品の回収事業を実施し、フードドライブの取り組みに関して啓発する。	通年で実施予定	令和5年10月末現在 回収量 約12,255kg	環境局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地産地消推進ロゴマーク「とれたて仙台」	一般市民	・イベント等で地産地消推進ロゴマーク「とれたて仙台」を活用し、仙台産農産物のPRを図る。	随時		経済局
2	NHKテレビ「もりすた!」	一般市民	・仙台市中央卸売市場で取り扱う旬の食材と、その食材を生かした美味しい食べ方等を紹介する。	放送予定回数 52回	放送回数 34回	経済局
3	小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	・食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらうため、一般市民や小学生親子に中央卸売市場内を見学してもらう ①一般見学 ②夏休み親子市場見学会	①随時 ②8月に実施予定	①216名 ②8月4日：35人 8月5日：42人	経済局 (事業主体： ② ・仙台おさかな普及協会 ・やさい・くだもの普及委員会)
4	地産地消機会創出のための情報発信	一般市民	ホームページやSNSを活用し、市内産農産物などに関する情報を発信し、消費拡大を図る。 ①ホームページで、生産者取材や市内産農産物を使ったレシピを掲載するほか、事業の広報等を行う。 ②SNS (Instagram) で、生産者取材、販売店や直売イベントの広報のほか、市内産農産物やレシピ等の紹介を行う。 ③市内産農産物の情報を広く発信するイベントを開催する。	通年 ①ホームページは随時更新を行う。 ②SNS (Instagram) は週2～3回程度の頻度で記事投稿を行う。 ③11月の1か月間	①ホームページ(R5.11月末時点) ・サイトを訪れたユーザー数：11,513 ・サイトへの訪問数：14,465 ②Instagram(R5.11月末時点) ・記事投稿数：157回 ・フォロワー数：2,026名 ③とれたて仙台フェア 【会場】Route 227s' Cafe 【期間】11月1日～11月30日 【内容】 仙台産農産物を使った特別メニューを提供した。また、11月は1か月間を「とれたて仙台」地産地消月間として料理教室等の各種イベントを開催したほか、多様な関係団体の主体的な取り組みとも連携し全市的な事業展開を図った。	経済局
5	米と米粉の活用促進事業	一般市民	消費量が低迷する米の活用、また、高騰する小麦粉に代わりうるものとして米粉の需要を喚起するため、米と米粉を活用促進する事業を実施する。 ①仙台産の米・米粉及び農産物を使用したカレーを提供する飲食店において、1か月間スタンプラリーを開催する。 ②仙台産の米・米粉及び農産物を使用した料理教室を開催する。	①8月の1か月間 ②8月（2回予定）	①とれたて仙台カレースタンプラリー 【会場】市内14店舗 【期間】8月1日～8月31日 【内容】 仙台産の米・米粉及び野菜を使用したカレーを提供する店舗を巡るスタンプラリーを開催。利用1回につきスタンプを1回押印し、スタンプを3個集めて応募はがきを郵送すると、抽選で仙台産の米に関連する賞品が当たる。 ②米や米粉の料理教室 8月20日(日) 仙台産米と野菜のカレー料理教室：19名参加 8月26日(土) 仙台産米粉の料理教室：16名参加	経済局

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市旬の香り市	一般市民	仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園カフェ前 ②せんだい農業園芸センターみどりの杜	①4～11月（原則第2・第4水曜日開催） ②6,9,10月（月1回土曜日開催）	ほぼ予定通りの開催した。 ①4～11月まで計16回開催 ②6月、10月の2回開催（9月は中止）した。	経済局
2	地産地消イベント開催	一般市民	・仙台産農産物を使った料理教室や生産現場の見学会等を開催し、地産地消への関心を高めてもらう。	①仙台産野菜を使った料理教室 夏～冬（年2回予定） ②生産現場見学会 秋～冬（年2回予定） ③栽培・収穫体験講座 夏～冬（播種・収穫各1回予定） ④仙台産野菜と花のフーク制作ワークショップ（年1回予定）	①夏：8月10日（木）仙台産夏野菜を使った料理教室 11人参加 （冬：2月開催予定） ②11月18日（土）西部コース開催 小学生親子2組6人参加 11月25日（土）東部コース開催 小学生親子6組13人参加 ③播種：8月26日（土）開催 小学生親子6組13人参加 収穫：10月21日（土）開催 小学生親子5組9人参加 ④11月23日（木・祝）：10名参加	経済局
3	せんだい収穫まつり開催	一般市民	・せんだい農業園芸センターにて開催 ・生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント	11月中旬の土日（予定）	11月11日（土）・12日（日）開催 来場者数：2日間延べ10,209人	経済局
具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	・市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援（レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応）	学童農園では、各農園4月～2月に2回以上農作業体験実施	学童農園は、61農園54校・園（小学校28校、中学校1校、幼保認こ園25園）で実施中。	経済局
具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	農食ビジネスモデル構築事業	一般市民	生産者、流通事業者、飲食店等と連携し、生産地と消費地の近さを活かした流通モデルを構築することにより、枝豆をはじめとした地元の農産物の高付加価値化、消費拡大を図る。	取り扱う農産物の流通時期	今朝採り枝豆 参加飲食店数：51店舗 参加量販店・小売店：32店舗	経済局
2	環境にやさしい農業の周知	一般市民	①せんだい農業園芸センターで開催されるせんだい収穫まつりで関連リーフレットを配架し、来園者に対して情報を提供。 ②ホームページで取組に関する情報を提供。	①11/11・12（2日間） ②随時	せんだい収穫まつり 来園者数 10,209人	経済局
3	保育所等サンマ教室への協力	①保育所等入所児童 ②中学生	①おさかな普及協会が、保育所等に出向き、子供達が、魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、子供達にサンマの炭火焼を体験させる ②おさかな普及協会が、中学校に出向き、生徒達が魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、生徒達にサンマをおろしてつみれ汁を作ることや、サンマの炭火焼を体験させる	①実施予定 ②実施予定	①10月実施 園児 263人 園職員 60人	経済局 （事業主体：仙台おさかな普及協会）
4	生産者による出前授業への協力	小学生	小学校の授業の一環として、生産者が小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。	実施予定	①7月4日実施「和歌山県JA紀州南高梅食育活動」 仙台市立中野栄小学校4年生90名（3クラス）	経済局 （事業主体： ・農業協同組合 ・仙台あおば青果㈱ ・やさい・くだもの普及委員会）

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	経済局分 検体数20（野菜0、林産物20） ・実施期間 4月～10月 ・検体数 20（林産物）	経済局分 ・実施期間 4月～10月 ・検体数 20（林産物20）	経済局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	令和6年1月15日～19日に実施。		教育局
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し、調査結果を活用して健康教育を実施します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし、取り組んでいく。	新たに令和5年度健康教育推進校として小・中学校2校を指定。健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」（令和5年8月3日予定）	講演①運動習慣 72名 講演②健康教育実践発表・食習慣 101名 講演③生活習慣 79名	小・中学校教育局
2	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力、食習慣についてその実態を把握し、分析検討を加え、もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	4月～夏季休業日前	小学校 7,820名 中学校 7,342名 高等学校 2,706名 合計 17,868名	市立学校教育局
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者、市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」（令和5年8月3日予定）	講演①運動習慣 72名 講演②健康教育実践発表・食習慣 101名 講演③生活習慣 79名	教育局
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めると緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エビベン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	今年度は資料を送付し、各自研修実施。 通年。	今年度は資料を送付し、各自研修実施。 通年。	小・中学校教育局
2	食育講演会 《①-B-5再掲》	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」（令和5年8月3日予定）	講演②食習慣101名	小・中学校教育局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局	
1 親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う（各小学校の社会学級やPTA等に委託）	令和5年4月～令和6年1月 23校で実施予定		教育局	
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します						
事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局	
1 調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さを学ぶ機会を提供。	今年度は中止。		教育局	
推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます						
事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局	
1 学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	各学校において、随時実施。		小・中学校教育局	
推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します						
具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します						
事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局	
1 「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。	6月実施。		教育局	
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局	
1 ホームページでの情報発信	一般市民	・学校、仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	随時。		教育局	

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ食育のページでの発信	一般市民	・食育事業の紹介、食育推進隊などの活動紹介、関係機関等へのリンクなど、情報を発信	通年		健康福祉局
2	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食で健康サポート店の紹介 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりや生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	庁舎内に設置 随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
4	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより、区ホームページ、庁内放送、パネル展、資料・レシピの配布等による普及啓発 ・図書館に食育の啓発ブースを作り、関連書籍の展示、レシピ等設置による普及啓発	6月 食育月間パネル展実施 9月 食生活改善普及運動 毎月19日 食育の日	各区、総合支所にてパネル展等開催、レシピ・啓発物配布、庁内放送を実施 【食育月間】パネル展11回、資料配布延3081枚、庁内放送延23回 【食生活改善普及運動】パネル展等10回、資料配布延2127枚 【食育の日】 庁内放送：延42回 資料配布等：延676枚	各区保健福祉センター 総合支所
5	「食育の日」のほり設置による啓発	地域住民	・庁舎前・地域の中心部国道沿いのほりを設置しPR	毎月15日～19日の5日間	左記の通り実施	秋保総合支所
6	せんだいTube、太白区チャンネルでの情報発信	子育て世代	・離乳食レシピ動画、地域と連携した食育動画、野菜食育プログラム連動レシピ動画、仙台特産野菜レシピ動画をせんだいTube、太白区チャンネルで発信 ・食育動画啓発ポスターを関係機関に配布、リーフレットを3～4か月育児教室、幼児健診個別相談等にて配付	通年	動画配信を継続し、動画啓発リーフレットを配付。3～4か月育児教室898部、幼児健診個別相談434部	太白区保健福祉センター
7	フェイスブックおよびInstagramによる健康情報の発信	一般市民	・健康政策課フェイスブックおよびInstagram「仙台伊達なキッチン-だてきち」で、食を中心に健康情報や簡単レシピなどを発信する。	毎週金曜日に記事を配信 その他イベント等に合わせて情報を随時配信	フェイスブック、Instagram 記事掲載数各32回	健康福祉局
8	動画による情報発信	乳幼児とその親	①BCG接種来所者に向けて離乳食開始～1か月頃の進め方についての動画放映 ②1歳6か月児健診・3歳児健診来所者に向けて幼児期の肥満と生活習慣についての動画放映	通年	①3回 ②79回	宮城野区保健福祉センター
9	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全情報コミュニケーター	・地域におけるパンフレット配布活動の実施	年4回活動	3回実施済み	健康福祉局

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1 子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者	・PTAフェスティバルにて、生活習慣病予防コーナーを設置し、小中学生の親子に健康的な食事について情報発信を行う。 ・野菜クイズ、野菜に関するパネル、フードモデル展示など	実施未定	実施なし	健康福祉局
2 子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	・「いすみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 郷土料理、手作りおやつを紹介など	今後イベントの実施予定なし	実施なし	泉区保健福祉センター
3 おやつレシピコンテストを契機とした啓発	子育て中の保護者とその子ども	・野菜を使った、親子で作る手作りおやつをテーマにおやつレシピコンテストを開催し、入賞レシピをホームページや展示等で配布。	5月～6月 前年度入賞レシピの動画を公開、啓発カード、レシピ配布による周知 7月～10月 レシピ募集 2月 試食会・表彰式 3月～ 入賞作品紹介（HP掲載、レシピ配布）	①啓発カード、レシピの配布 ・食育月間パネル展（6月）に設置 ・管内の認定こども園23か所、幼稚園15か所、保育所27か所、児童館20か所へ送付 ②せんだいTubeでの前年度入賞レシピの動画公開（6月から）	宮城野区保健福祉センター
4 子育て世代、働き盛りに向けたイベント	児童と保護者	・商業施設におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに解答。参加者にクイズの解答と健康情報を掲載した資料等を配付。	年2回（8月15日実施、1月5日実施予定）	72名参加（8月15日）	太白区保健福祉センター
5 朝食に関する啓発	児童とその親	鶴ヶ谷東マイスクール児童館主催の朝ごはんを提供する「朝カフェ～キッチンつるがや～」にて朝食に関するリーフレットを配布	年2回	1回（12月2日）	宮城野区保健福祉センター
6 子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者とその子ども	「みんなで子育てフェスタ」にて、未就学児向け塗り絵の実施、バジメータによる野菜摂取状況測定、及び簡単・時短野菜レシピの紹介	9/23 1回	実施回数 1回 参加者 225世帯	青葉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します

事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1 「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	・「仙台食育推進隊」の募集、登録。また、活動状況や情報をホームページなどで市民に提供	通年		健康福祉局
2 食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	食を通じた健康づくりボランティア「食生活改善推進員会（宮城・秋保・泉）」の活動支援 ・会の活動や運営等における情報提供や助言 ・食生活改善推進員の育成支援（研修会の実施など）	（全体） 食生活改善地区組織育成研修会（2月） 協議会打ち合わせ会 年2回予定（宮城）定期総会、地区研修、各種委託事業等実施予定。 （秋保）5月定期総会開催。推進員対象の研修を開催予定。 （泉区）推進員対象の研修を実施予定。	（全体） 協議会打ち合わせ会 7月4日 事業説明会 8月10日 （宮城） 定期総会 6月実施15名出席 会員学習会 10月開催11名参加 日食協委託事業「全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト（第3弾）」11月実施 食改9名 高校生30名参加 （秋保） 定期総会 5月9名参加 学習会 3回25名参加 （泉区） 勉強会 5月11日 桂市民センター 5名	健康福祉局 宮城総合支所 秋保総合支所 泉区保健福祉センター
3 食育サポーターの活動支援	食育サポーター	①食育サポーターの研修 ②食育サポーターの活動の場の提供 ③市民に向け活動内容の紹介等	①未定 ②おやつレシピコンテストでの試作・試食審査等 ③食育月間パネル展での活動紹介パネル展示	①11月8日（3グループ10名参加） ②2月 試食会実施予定 ③食育月間パネル展での活動紹介パネル展示	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学との連携による若い世代への食育推進事業「大学生の食育プロジェクト」	若い世代	・若い世代への食育啓発のため、同世代の学生が自らのアイデアで、より多くの若者に食の大切さを浸透させ、食育の関心を高める取り組みを行う。	若い世代へ向けたSNSを活用した情報発信について検討予定 企画会議：年3回程度	参加学生：宮城学院女子大学3名、仙台白百合女子大学4名 企画会議【インスタレシビコンテストの開催】 第1回11月22日：「主食・主菜・副菜についてわかりやすく説明する投稿を考えよう」7名参加 第2回12月13日：「レシビコンテストに応募するレシビのアイデアを考えてみよう」 第3回（2月予定）：応募作品試作・審査 第4回（3月予定）：まとめ	健康福祉局
2	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発 ・学校を訪問し、健康課題など状況を把握する ・リーフレットによる検診と食育の啓発	NL：年2回発行 7校へ年4回の啓発物送付	7月発行 区内専門学校23校 関係機関2か所 10校へ年4回のうち2回、食生活についての啓発物送付（7,280部）	健康福祉局 青葉区保健福祉センター
		大学生等	・東北工業大学の1年生を対象に「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙」等の内容を盛り込んだ総合的な健康教育の実施。 ・東北工業大学文化祭にてウォーキングクイズラリーを実施し、参加者にクイズの解答と健康情報を掲載した資料等を配付。レシピ集の設置。 ・宮城大学食産業学群学生を対象に朝食摂取の定着に向けたリーフレットの配付。	年1回（6月14日実施） 10月14日、15日実施 年2回（6月1日、12月以降予定）	109名 クイズラリー参加者62名、資料、レシピ集等配布100部 228部（6月）	太白区保健福祉センター
		大学生等	①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②東北生活文化大学との連携により、若い世代向けの啓発媒体を作成し、食育月間での啓発に活用する。 ③前年度大学生が作成した媒体を、同意を得られた管内短期大学に掲示する。	①6月 ②7～10月	①9施設 配布 ②6月の食育月間パネル展や泉図書館でのパネル展で昨年度作成したニュースペーパーの活用 7月31日特別講座実施4年生34名対象 12月25日ニュースペーパー発表会（予定）4年生34名 1月食生活に関するアンケート実施予定 ③1施設	泉区保健福祉センター
3	おやつレシビコンテスト	専門学校の学生	・仙台スイーツ&カフェ専門学校と連携し、親子が一緒に調理できる、野菜を使ったおやつをテーマに学生からレシビを募集し、おやつレシビコンテストを開催。	5月～6月 前年度入賞レシビの動画を公開、啓発カード、レシビ配布による周知 7月～10月 レシビ募集 2月 試食会・表彰式 3月～ 入賞作品紹介（HP掲載、レシビ配布）	6月 啓発カード、レシビ配布による周知、前年度入賞レシビの動画を公開 10～11月 レシビ募集 2月 試食会・表彰式（予定）	宮城野区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する	通年	身長・体重・肥満度・問診項目・個別相談の結果等を集計	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	地域の子育て中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	随時受付	（集団指導） 実施回数：24回 参加人数：124名 （個別指導）延27名	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児食相談会	概ね1歳～1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回（6・8・10・12・2月）	実施回数：3回 参加人数：9名	青葉区保健福祉センター
3	「モーベジ！」を活用した啓発	子育て世代	・食育推進事業の標語「モーベジ！」を活用し、朝食と野菜摂取を各種事業（幼児健診、離乳食教室等）、関係機関（保育園、小学校等）との連携事業等で啓発。モーベジスタートガイド、モーベジレシピ配布（HPでも公開） ・みんなで子育てフェスタにて「親子で作るモーベジレシピ」のパネル展示とリーフレット設置 ・商業施設におけるマルシェにてモーベジポスター掲示、レシピ配布	通年 9月23日 マルシェ開催に合わせて実施予定	モーベジスタートガイド 1857部 モーベジレシピ 470部 82部配布	太白区保健福祉センター
4	幼児食育推進連携事業	幼児とその保護者	・幼稚園等で幼児及び保護者双方を対象に食育通信発行またはPDFデータでの送付、食育DVD上映、食育通信に連動したレシピ動画の啓発等をパッケージ化した野菜食育プログラムを実施	連携施設7施設実施今後3施設実施予定	703名	太白区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者	・PTAフェスティバルにて、生活習慣病予防コーナーを設置し、小中学生の親子に健康的な食事について情報発信を行う。 ・野菜クイズ、野菜に関するパネル、フードモデル展示など	実施未定		健康福祉局
2	子育て世代、働き盛りに向けたイベント《①-A-2に再掲》	児童と保護者	・商業施設におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに解答。参加者にクイズの解答と健康情報を掲載した資料等を配付。	年2回（8月15日実施、1月5日実施予定）	72名参加（8月15日）	太白区保健福祉センター
3	朝食に関する啓発《①-A-2の再掲》	児童とその親	鶴ヶ谷東マイスクール児童館主催の朝ごはんを提供する「朝カフェ～キッチンつるがや～」にて朝食に関するリーフレットを配布	年2回	1回（12月2日）	宮城野区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設、認可外保育施設、企業主導型保育実施施設、事業所内保育施設の食育担当者等	・食育に関する講話、事例発表、情報交換等	7月 青葉区・宮総共催	7月20日青葉区食育情報交換会 参加数22施設23名（うち宮総管内4施設4名） 講話「乳幼児における小児肥満のアセスメント～保護者へのアプローチも含めて～」・情報提供「幼児健診での栄養相談について」・情報交換・グループ発表	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	食育推進研修会	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者、訪問栄養相談員	・食育や健康づくりに関する講演、事例紹介、情報交換	年1回	令和6年3月1日開催予定	若林区保健福祉センター
3	食育担当者情報交換会	保育所、幼稚園、学校の食育担当者	・事例発表、情報提供、情報交換等の開催	11月開催を予定していたが、会場を確保できず中止		太白区保健福祉センター 秋総合支所
4	食育情報交換会【新規】	認可保育所、認定こども園	食育に関する講話、事例発表、情報交換等	9月	9月8日（19施設20名参加）	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生（乳児の保護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布	年6回実施予定	5回 14組	青葉区保健福祉センター
2	育児相談会「まめっこの会」	1歳6か月までの乳幼児と保護者	・育児相談 ・育児の情報提供など	年6回（5・7・9・11・1・3月）	4回 18組	青葉区保健福祉センター
3	母親教室での啓発	妊婦	・妊娠中、産後の食生活についての講話	年4回	3回20名	宮城総合支所
4	産後交流会での啓発	乳児の保護者	・離乳食と家族の食生活についての講話	年3回	2回37名	宮城総合支所
5	育児相談	乳幼児の保護者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応についての確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援をする	七郷保健センター 年12回 のびすく若林 年4回	七郷保健センター 5回 相談12件 のびすく若林 3回 相談12件	若林区保健福祉センター
				茂庭台年3回(4月中止、8月実施) 生出年3回(6月、10月実施) 東中田年4回(6月、9月実施) 区役所年12回(4月～11月実施)	2名 4名 4名 29名 計39名	太白区保健福祉センター
				泉すすく育児相談 4月25日実施 以降開催検討	4月25日実施 2組対応 6月以降区役所での実施なし	泉区保健福祉センター
				12回（高砂保健センター・岩切保健センター各6回）	8回（高砂保健センター・岩切保健センター各4回）	宮城野区保健福祉センター
6	育児相談（幼児健診事後）	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	風の子 8月22日、3月12日 わんぱく 9月5日、2月6日 栄養講話実施予定	風の子 8月22日 6組参加 わんぱく 9月5日 5組参加	泉区保健福祉センター
7	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦、乳幼児の保護者など	・家庭訪問により、生活実態に合った具体的な支援をする	通年	延件数 176件 妊産婦：0件 乳幼児：176件 その他：0件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
8	食生活・栄養相談	乳幼児の保護者及び妊産婦	・電話、来所による栄養相談	通年、随時受付	妊産婦：25件 乳幼児：285件	各区保健福祉センター 総合支所
9	ハロー赤ちゃん	初妊婦	・来所による妊娠中の食生活についての集団指導を実施する	年6回を予定し、4回実施(4月、6月、8月、10月実施)	65名	太白区保健福祉センター
10	秋保くらしの保健室	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会（包括支援センター、市民センター共催）	年3回程度	8回開催 237名来所 個別相談 75件（うち栄養相談61件）	秋保総合支所
11	母子手帳交付説明会	妊婦	妊娠中の食生活等の講話	年12回	8回22名	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所などと連携した健康教育	乳児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食講座（調理実習）	開催検討	実施なし	泉区保健福祉センター
2	学齢期健康づくり事業	児童・生徒、保護者	・児童館や小学校・中学校と地域の健康課題を共有し、生活習慣改善に向けた教室等を一緒に企画し実施する。	通年	小学校5回166名、中学校1回81名	宮城野区保健福祉センター
3	学校保健に関する懇談会	小中学校・高校の教職員	・児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換、連携方法の検討	年1回	実施内容の変更により食に関する内容なし	若林区保健福祉センター
4	地域と共に育む子どもの健康づくり事業	幼児・児童と保護者	・幼児、児童に対して、食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを活用し、朝ごはんとおやつについて啓発。保護者向けパンフレット配付	随時	5施設（児童館1保育園2こども園2）137名	太白区保健福祉センター
5	児童館等における生活習慣病予防事業	児童館を利用する学童	・児童館と連携し、生活習慣病予防のために、啓発媒体の作成や、それに関するイベントを一緒に企画し実施する。	6児童館	6児童館 啓発パネル年間掲示 4～11月児童館だより記事掲載 イベント5回 計200名参加	若林区保健福祉センター
6	学校保健・地域保健懇談会	小・中学校の養護教諭、市民センター社会教育主事	児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換、連携方法の検討	調整中	①7月26日 鶴ヶ谷地区学校保健・地域保健懇談会（小学校2校2名、中学校1校2名、児童館1施設1名参加） ②12月実施予定 学校保健・地域保健懇談会	宮城野区保健福祉センター
7	児童館等と連携した生活習慣病予防事業【新規】	児童館を利用する学童とその保護者	児童館等で飲み物やアイスに含まれる糖分量等の生活習慣病予防啓発パネルを展示 関連資料を配布	随時	管内児童館、児童センター、根白石保健センター含む5施設	泉区保健福祉センター
8	子どもを対象とした食育事業【新規】	児童館を利用する学童とその保護者	児童館等で学童を対象におやつ選び方や野菜についての食育講座を実施 保護者向けに関連資料の配布	通年	2施設実施 8月22日18名、10月10日23名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関、関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	認可保育所、認定こども園の食育担当者等	・食育に関する講話、事例発表、情報交換等 内容：宮城県小児肥満対策マニュアルの活用について（R4からの継続テーマ）	7月 青葉区・宮総共催	7月20日青葉区食育情報交換会 参加数22施設23名（うち宮総管内4施設4名） 講話「乳幼児における小児肥満のアセスメント～保護者へのアプローチも含めて～」・情報提供「幼児健診での栄養相談について」・情報交換・グループ発表	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所、幼稚園、児童館、市民センター、育児サークル、託児ボランティアグループ、社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の情報提供を行う	6月開催予定	6月20日開催 42機関43人参加	宮城総合支所
3	食育推進研修会 《①-B-7 再掲》	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者、訪問栄養相談員	・食育や健康づくりに関する講演、事例紹介、情報交換	年1回	令和6年3月1日開催予定	若林区保健福祉センター
4	食育担当者情報交換会 《①-B-7 再掲》	保育所、幼稚園、学校の食育担当者	・事例発表、情報提供、情報交換等の開催	11月開催を予定していたが、会場を確保できず中止		太白区保健福祉センター 秋保総合支所
5	学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士、支所栄養指導員	・食育や健康づくりに関する取り組み、給食管理等についての情報交換	7～8月に開催予定	9月開催 5名参加	秋保総合支所
6	地域子育て交流会	いずみ食育の輪、育児サークル、育児サロン、のびすく泉中央、泉区中央市民センター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 いずみおやかフェスティバルにおける食育の情報発信《①-A-2再掲》	今後イベントの実施予定なし	実施なし	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づくり支援事業 《①-A-5 再掲》	専門学校の学生	・ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発	NL：年2回発行	7月発行 区内専門学校23校 関係機関2か所	青葉区保健福祉センター
2	若い世代の健康づくり支援事業 《①-A-5 再掲》	専門学校の学生	・学校を訪問し、健康課題など状況を把握する ・リーフレットによる検診と食育の啓発	7校へ年4回の啓発物送付	10校へ年4回のうち2回、食生活についての啓発物送付（7,280部）	宮城野区保健福祉センター
3	地域健康教育（宅配講座）	幼稚園・小・中・高校生及び保護者等	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	随時	六郷小・六郷中実施 計3回 延334名参加	若林区保健福祉センター
4	若い世代の健康づくり支援事業 《①-A-5再掲》	大学生等	・東北工業大学の1年生を対象に「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙」等の内容を盛り込んだ総合的な健康教育の実施。 ・東北工業大学文化祭にてウォーキングクイズラリーを実施し、参加者にクイズの解答と健康情報を掲載した資料等を配付。レシピ集の設置。 ・宮城大学食産業学群学生を対象に朝食摂取の定着に向けたリーフレットの配付。	年1回（6月14日実施） 10月14日、15日実施 年2回（6月1日、12月以降予定）	109名 クイズラリー参加者62名、資料、レシピ集等配布100部 228部(6月)	太白区保健福祉センター
5	若い世代を対象とした食育 《①-A-5 再掲》	大学生等	①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②東北生活文化大学との連携により、若い世代向けの啓発媒体を作成し、食育月間での啓発に活用する。 ③前年度大学生が作成した媒体を、同意を得られた管内短期大学に掲示する。	①6月 ②7～10月	①9施設 配布 ②6月の食育月間パネル展や泉図書館でのパネル展で昨年度作成したニュースペーパーの活用 7月31日特別講座実施4年生34名対象 12月25日ニュースペーパー発表会（予定）4年生34名 1月食生活に関するアンケート実施予定 ③1施設	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	働き盛り世代の健康支援事業	働き盛り世代	・衛生課との連携による区内事業者への啓発	随時	衛生課主催業種別講習会で啓発資料配布 5～6月 5回 97部	青葉区保健福祉センター
2	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員	・職員や顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	情報提供（栄養関係）2回 12月・1月	9月73施設へ送付	宮城野区保健福祉センター
3	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・事業所で働く方を対象とした生活習慣改善の出前講座の実施。 「健康的な食生活」と「運動」をテーマに健康教育を実施。	随時	1施設に2回コースで実施延べ76名参加	太白区保健福祉センター
4	健康づくり啓発事業	働き盛り世代	・消防団の集まり、スポーツレクリエーション大会等、地域のイベントにおける情報提供	実施未定	9月実施 36名参加	秋保総合支所
5	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	①働き盛り世代が集まる市民センターや地域のイベント等における啓発活動 ②衛生課との連携による区内事業者への啓発	①随時 ②業種別講習会や理美容講習会での啓発	①市民センター、地域イベント等 延べ3回 ②業種別講習会 4回 延98名 理美容講習会 2回 延108名 感染症講習会 1回 14名	泉区保健福祉センター
6	地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携による、健康教育の実施	随時	3回 延べ85名	泉区保健福祉センター
7	子育て世代、働き盛りに向けたイベント 《①-A-2、①-B-5に再掲》	児童と保護者	・商業施設におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに解答。参加者にクイズの解答と健康情報を掲載した資料等を配布。	年2回（8月15日実施、1月5日実施予定）	72名参加（8月15日）	太白区保健福祉センター
8	健康づくり啓発事業【新規】	みやぎ仙台商工会 会員等	みやぎ仙台商工会と連携し、会員に対して健康づくりや生活習慣病予防についてのポスターを送付、会報に記事を掲載	各年1回	・みやぎ仙台商工会会報にメタボリックシンドローム予防啓発のポスターを同封 2000部 ・みやぎ仙台商工会会報（9月号）への記事掲載 ※令和6年4月号にも記事掲載を依頼。	泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	一般市民	・町内会、地域事業所等での、生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	随時	実施回数：5回 参加延人数：163人 個別相談：13件	各区保健福祉センター 総合支所
2	生活習慣病予防のための健康相談会	一般市民	・イベント形式で血管年齢測定及び体力測定を実施し、状況に合わせ、食生活についてのアドバイスを行う	検討中		宮城総合支所
3	生活習慣病予防講座（泉ヶ丘地域連携事業）	泉ヶ丘地区居住者	・高森地域包括支援センター、泉区社協、仙台市健康増進センター、泉区保健福祉センター連携事業	意見交換会を随時開催予定 ウォーキングイベントを実施予定。 （9/9）	9/9 ウォーキングイベント実施。 参加者 24名 生活習慣病予防の食生活に関する資料を配布 打ち合わせ 6回実施	泉区保健福祉センター
4	西部地区の健康づくり【新規】	基礎健診・特定健診集団健診受診者	西部地区で行う集団健診や集団健診事後指導の機会に、健康講話や個別相談を実施	年5回	健康講話等4回78名 個別相談1回6名	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定保健指導	特定保健指導対象者（積極的支援）	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	7月～	59名	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	基礎健診保健指導	基礎健診保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	9月～	延6件	各区保健福祉センター 総合支所
3	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室を個別相談会形式で実施 ・対象者に啓発資料送付	啓発資料送付 4月（439名） 個別相談会 6月 2回	4月439名資料送付 6/7、6/13個別相談会2回11名 10月事後アンケート送付、返送5名	青葉区保健福祉センター
4	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施	年6回実施予定 （7/28、8/25、9/29、10/27、 11/29、3/17）	5件	宮城総合支所
5	生活習慣病予防講座 （健康づくり講座）	特定健診要指導者 （HbA1c）	・生活習慣病発症予防のため血糖（HbA1c）が高めの方を対象として個別相談	4月～5月、9月～3月予定	5月に1件（その他の月は、予定通り 開催を案内したが、希望者なし）	太白区保健福祉センター
6	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	講座4回（7・9・11・2月） 相談12回	7/19野菜ソムリエによる講話 野菜のおいしい食べ方 親子11組	青葉区保健福祉センター
7	健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	月1回（10・12・1月は月2回） 年間15回	8回	宮城野区保健福祉センター
8	健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話、演習	年2回程度	年2回 ①10月（減塩について） 11名 ②12月予定（骨粗鬆症検診事後指導）	宮城野区保健福祉センター
9	健康づくり講座、相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と食生活に関する個別相談	講座3回、相談10回	講座2回 延20人参加 相談4件	若林区保健福祉センター
10	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	個別相談 月1回開設	23件	太白区保健福祉センター
11	健康づくり相談	一般市民	・個別相談と講話による食生活や生活習慣改善のための支援	個別相談 月1回開設 栄養についての講話 1回	個別相談 延10名 11/30 栄養講話 20名	泉区保健福祉センター
12	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：0件 電話、来所での相談：延51件	各区保健福祉センター 総合支所

令和5年度 食育推進事業実施状況（令和5年11月末現在）

仙台市健康福祉局

13	被災者の食生活支援 →復興公営住宅等入居者	仮設住宅等入居者 →復興公営住宅等入居者	・復興公営住宅集会所、中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話、食生活相談 ・訪問、電話、来所による食生活・栄養相談	随時	講話・相談会：開催なし 個別相談：0件	各区保健福祉センター 総合支所
14	生活習慣改善講座	健診結果で要指導の項目があった者等	・HbA1c要指導判定の者等を対象とした生活習慣病予防のための講座 今年度は個別相談会に変えて実施予定	10月	個別相談会に切り替えて実施 （健診事後指導の会場での相談会：4件、他くらしの保健室内での相談）	秋保総合支所
15	秋保くらしの保健室	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会 （包括支援センター、市民センター共催）	年3回程度	8回開催 237名来所 個別相談 75件（うち栄養相談61件）	秋保総合支所
16	西部地区の健康づくり 【新規】 《①-D-2再掲》	基礎健診・特定健診集団健診受診者	西部地区で行う集団健診や集団健診事後指導の機会に、健康講話や個別相談を実施	年5回	健康講話等4回78名 個別相談1回6名	宮城総合支所

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	高齢者の食生活に関する地域健康教育	一般市民（高齢者やその家族）	・町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした、高齢者の栄養に関する健康教育	随時	開催回数：12回 参加者数：延199名	各区保健福祉センター 総合支所
2	食生活・栄養相談（65歳以上）	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：1件 電話、来所での相談：延122件	各区保健福祉センター 総合支所
3	食生活改善推進委員会における研修	宮城食生活改善推進委員会	会員向けの研修会や、会員等による地域住民向け研修会において、フレイル予防を啓発する	検討中	1回11名	宮城総合支所
4	介護予防サポーター事業における健康教育	介護予防運動サポーター	・介護予防運動サポータースキルアップ研修会等で、必要に応じ健康的な食生活について支援実施 ・サポーターを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	宮城野 9月予定 若林 6月3日 泉 今年度は実施なし 宮総 検討中 秋保 11月実施予定	（宮城野）11月実施（4回103名参加） （若林）1回15名参加 （宮総）2回40名 （秋保）1回6名参加	宮城野区保健福祉センター 若林区保健福祉センター 泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所
5	健康づくり情報提供	一般市民（高齢者やその家族）高齢者やその家族）	・窓口来所者やサロン参加者等へ、フレイルや高齢者の栄養に関する資料を配布し、情報提供する	随時	随時実施	秋保総合支所
6	秋保くらしの保健室	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会 （包括支援センター、市民センター共催）	年3回程度	8回開催 237名来所 個別相談 75件（うち栄養相談61件）	秋保総合支所

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
2	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりや生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	庁舎内に設置 随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介、活用方法の普及など ・クイズや演習など、媒体を活用した展示等	通年	回数：14回 資料配布枚数延べ721枚	各区保健福祉センター 総合支所
4	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより、ホームページ、庁内放送、パネル展、資料配布等による普及啓発 ・商業施設内で関連イベントを実施（泉区）	9月 パネル展、イベント等の実施	イベント（パネル展等）：10回 レシピ・啓発資料配布等： 延べ2127枚 講演会等：1回 参加者：467名	各区保健福祉センター 総合支所
5	常備菜レシピ作成事業	幼児から高齢者	・市民協働で作成した、常備菜レシピ集を使用したバランスの良い食事摂取についての普及啓発。 ・地域団体と共催の講座にてレシピの普及啓発。 ・依頼のあった団体に向けて、健康教室を実施（随時） ・HP掲載 ・管内専門学校への普及啓発 ・当該事業（母親教室）にて、講座や講話を実施	地域団体との共催：1回 当該事業内：6回	レシピ集配布 166 レシピカード 88	青葉区保健福祉センター
6	被災者向け健康情報紙の発行	復興公営住宅居住者等	・栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を復興公営住宅等に配布する。	宮城野 年1回発行予定 太白 年1回(7月)発行	宮城野区 3回6,090部配布 太白区 515部	宮城野区保健福祉センター 太白区保健福祉センター
7	フェイスブックおよびInstagramによる健康情報の発信 《①-A-1 再掲》	一般市民	・健康政策課フェイスブックおよびInstagram「仙台伊達なキッチン-だてきち」で、食を中心に健康情報や簡単レシピなどを発信する。	毎週金曜日に記事を配信 その他イベント等に合わせて情報を随時配信	フェイスブック、Instagram 記事掲載数各32回	健康福祉局
8	健康お役立ちレシピコンテスト	一般市民 市内学生	・市民（または市内に通学する学生）が考える健康を意識したレシピを募集し、優秀作品を表彰する。令和5年度のテーマは「簡単！1品でバランスはなまるレシピ」とし、1品で主食・主菜・副菜が揃うレシピを募集。今回は、Instagramを活用して実施。 ・応募レシピは、健康政策課フェイスブックおよびInstagram等で発信する。	・レシピ募集 令和5年12月～令和6年1月 ・2月審査	・レシピ募集期間 令和5年12月～令和6年1月 ・レシピ審査 2月26日実施予定	健康福祉局
9	出張！健康情報お届け隊	一般市民	・宮城野区中央市民センターと連携し、市民センターを会場に生活習慣病予防・健康づくりなどについてのパネル展・資料配布を実施する。	年2回（6月、9月）	6月、9月実施（1,023部配布）	宮城野区保健福祉センター
10	秋保くらしの保健室	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会（包括支援センター、市民センター共催）	年3回程度	8回開催 237名来所 個別相談 75件（うち栄養相談61件）	秋保総合支所
11	動画による情報発信 《①-A-1 再掲》	乳幼児とその親	①BCG接種来所者に向けて離乳食開始～1か月頃の進め方についての動画放映 ②1歳6か月児健診・3歳児健診来所者に向けて幼児期の肥満と生活習慣についての動画放映	通年	①3回 ②79回	宮城野区保健福祉センター
12	健康づくり啓発事業【新規】 《①-D-1再掲》	みやぎ仙台商工会員等	みやぎ仙台商工会と連携し、会員に対して健康づくりや生活習慣病予防についてのポスターを送付、会報に記事を掲載	各年1回	・みやぎ仙台商工会会報にメタボリックシンドローム予防啓発のポスターを同封 2000部 ・みやぎ仙台商工会会報（9月号）への記事掲載 ※令和6年4月号にも記事掲載を依頼。	泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食で健康サポート店推進事業	一般飲食店、給食施設、食料品等販売店 一般市民	・栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコ（塩分控えめ）メニューのいずれかを提供する店舗（食で健康サポート店）の登録を推進 ・登録店舗向けに、健康情報を発信 ・市政だよりにて、栄養成分表示等の活用方法などを啓発（泉） ・庁舎内デジタルサイネージを利用し市民へ周知、登録店の紹介（青葉）	通年 3月（泉） 3月・4月（青葉）	登録店舗数：81店舗	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	「モーベジ！」を活用した啓発 《①-B-2に再掲》	一般市民	・食育推進事業の標語「モーベジ！」を活用し、朝食と野菜摂取を各種事業（幼児健診、離乳食教室等）、関係機関（保育園、小学校等）との連携事業等で啓発。モーベジスタートガイド、モーベジレシピ配布（HPでも公開） ・みんなで子育てフェスタにて「親子で作るモーベジレシピ」のパネル展示とリーフレット設置 ・商業施設におけるマルシェにてモーベジポスター掲示、レシピ配布	通年 9月23日 マルシェ開催に合わせて実施予定	モーベジスタートガイド 1857部 モーベジレシピ 470部 82部配布	太白区保健福祉センター
3	六郷地区健康づくり事業	一般市民	生活習慣病予防の食生活に関する啓発、レシピ配架等	通年	・六郷地区スーパーにて 6月中栄養成分表示に関する啓発設置 レシピ等配架780部 ・親子料理教室 6組14名参加	若林区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子供の食育講座	乳幼児 小学生	・児童館・児童センターと共催により、調理実習等を用いた食育講座を通して、食に関心を持ってもらう。	随時	実施なし	泉区保健福祉センター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地区まつり等、イベントでの情報提供	一般市民	・地域の食材を使用した料理の紹介 ・レシピ配布	随時		宮城総合支所
2	子育てについてのイベントでの情報発信	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信《①-A-2再掲》 郷土料理、手作りおやつを紹介等	今後イベントの実施予定なし	実施なし	泉区保健福祉センター
3	せんだいTube、太白区チャンネルの情報発信《①-A-1再掲》	子育て世代	・地域の食材を使用した地元料理紹介動画をせんだいTube、太白区チャンネルで発信	通年	動画の配信継続	太白区保健福祉センター

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	農水産物について88件実施	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
2	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	随時実施	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
3	ホームページ等による食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供 ・食中毒予防等の啓発動画の作成、配信	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
4	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	令和6年1月開催予定	令和6年2月開催予定（実施時期変更）	健康福祉局 各区保健福祉センター
5	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座（担当テーマ：安全・安心の食生活）における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申し込みの都度	市政出前講座：6回 市民向け食品衛生講習会：27回	健康福祉局 各区保健福祉センター
6	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時対応	健康福祉局 各区保健福祉センター
7	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年4回活動予定（開催形式未定）	2回実施済み	健康福祉局 各区保健福祉センター
		せんだい食の安全情報アドバイザー	・食肉まつり等における食品衛生普及啓発活動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食肉まつり中止 移動研修を令和5年11月実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食肉まつり中止 移動研修：令和5年10月実施済み	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ⑤-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食施設巡回指導	特定給食施設 条例に基づく給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設、条例に基づくその他の給食施設に対する、栄養管理、衛生管理指導	通年	特定給食施設 36件 その他の給食施設 25件	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	通年	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ⑤-A-3 食品関係営業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	随時実施	随時実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	随時実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
具体的な取り組み ⑤-A-4 食品関係営業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	随時実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業者経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業者経営者セミナーの開催	令和5年10月実施予定	令和5年10月実施済み	健康福祉局 各区保健福祉センター
取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し、食品の選択への活用をすすめます						
具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し、活用法を知る機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民	・健康教育、食育講座および健康づくりや食育に関するイベント等において食品表示について知識の普及啓発の実施	通年	出前講座、宅配講座等での啓発 9回 参加者数177名 イベント(パネル展等)でのチラシ配布 2240部	健康福祉局 各区保健福祉センター